



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第72号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2012年9月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

開倫ユネスコ協会 齋藤具秀顧問 活躍の御報告

開倫ユネスコ協会に対してご理解、ご協力をいただいている齋藤具秀さんの活躍の様子をご紹介します。

齋藤顧問は、4期16年間、栃木県議会議員として県政に取り組みられました。県議会議員をされる前は、足利市議会議員も16年、足利繊維連合会理事12年、足利ランジェリー製造販売協同組合理事長12年などのご活躍ぶりでした。また、昨年11月30日、広島市から寄贈された被爆アオギリ2世の植樹式において、多大なご協力をいただきました。被爆アオギリの設置場所を足利公園にするご手配や足利市役所の方々との打ち合わせなどお忙しい中をいろいろとお世話していただきました。ありがとうございます。日頃のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。



栃木県ユネスコ連絡協議会研修会

7月27日(金)10:00～、宇都宮大学会館2F・多目的ホールにて、宇都宮ユネスコ協会主催による栃木県ユネスコ連絡協議会研修会が開催されました。宇都宮大学ユネスコ研究会の司会進行で行われました。宇都宮大学国際学部への留学生9人がまず、自国の紹介をし、生活や文化の様子ホームページで説明し、国際色豊あふれるプレゼンテーションで盛り上がりました。また、午後からは作新学院中等部や一般の子供たちと留学生との交流があり、20年後の自分についてまとめ発表をしました。また、今年から栃木県ユネスコ連絡協議会会長となった、熊倉勝さん(佐野ユネスコ協会会長、2年間)からのご挨拶がありました。



平和の鐘を鳴らそう運動

国連総会は西暦 2000 年を「平和の文化国際年」と決めました。ユネスコは、この「平和の文化国際年」を推進する中心的役割を担っております。日本ユネスコ協会連盟は、国際年の意義を広く伝え、人々の心の中にある“平和の祈りと願い”を大きな力へと結集していくために、「わたしの平和宣言」と「平和の鐘（かね・おと）を鳴らそう運動」を継続して実施しております。

開倫ユネスコ協会では、8月13日「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施致しました。当日約900名（学生850名・大人50名）の参加者があり、「私の平和宣言文」を読み上げ、思い思いに音を鳴らしました。特に足利市内の永宝寺、ばんな寺では、ご住職の御協力もあり、平和を祈りながら鐘をつきました。

*永宝寺（住 職：高木 堅持）8/13（月）、12：00、高木ご住職がお経を唱えたあと、参加者全員が鐘を撞きました。その後、参加者全員で「私の平和宣言」を読み上げ、平和を祈りました。

*ばんな寺（住 職：山越 忍隆住職）8/13（月）、13：30、「私の平和宣言」を読み上げた後、鎌倉時代に創建された鐘撞き堂で鐘を撞きました。



永宝寺



ばんな寺



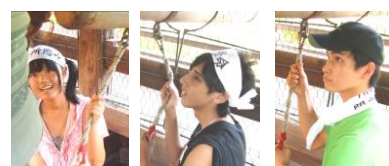
永宝寺 高木住職



平和を祈る参加者



ばんな寺 山越住職



足利市の歴史と未来を考える会

8月10日（金）午後1時から、足利市民会館において、開倫ユネスコ協会主催「足利の歴史と未来を考える会」が開催されました。イギリスに留学して勉強している大武さんは、足利氏の歴史に詳しく、足利氏の時代背景や上下関係等について熱く語っていただきました。また、学生の方々へのメッセージとして、今やるべきことをしっかりと学び結果を出すことが必要だとも話し、足利への郷土愛が伝わってくるたいへん貴重なお話しでした。



開倫ユネスコ協会林会長 講師：大武 旭一さん



会場の様子